



平成28年10月28日

各 位

会 社 名： 住江織物株式会社
代表者名： 取締役会長兼社長 吉川 一三
(コード番号：3501 東証第一部)
問合せ先： 執行役員経営企画室部長 新實 啓悦
(TEL 06-6251-6803)

(訂正)「平成26年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成26年1月14日に開示いたしました「平成26年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたのでお知らせします。

記

1. 訂正内容と理由

訂正の理由及び経緯につきましては、平成28年10月28日付「過年度の決算短信および四半期決算短信の一部訂正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には下線を付して表示しております。

以 上

(訂正後)



平成26年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月14日

東

上場会社名 住江織物株式会社 上場取引所
 コード番号 3501 URL <http://suminoe.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 吉川 一三
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 飯田 均 (TEL) 06-6251-6803
 経営企画室部長
 四半期報告書提出予定日 平成26年1月14日 配当支払開始予定日 平成26年2月10日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年5月期第2四半期の連結業績(平成25年6月1日～平成25年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年5月期第2四半期	43,936	12.2	1,494	62.9	1,842	70.5	936	51.4
25年5月期第2四半期	39,176	8.1	917	646.9	1,080	464.2	618	—

(注) 包括利益 26年5月期第2四半期 1,834百万円 (107.7%) 25年5月期第2四半期 882百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年5月期第2四半期	12.41	—
25年5月期第2四半期	8.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年5月期第2四半期	85,249	34,086	35.8
25年5月期	79,901	32,267	36.4

(参考) 自己資本 26年5月期第2四半期 30,545百万円 25年5月期 29,087百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年5月期	—	2.50	—	2.50	5.00
26年5月期	—	2.50	—	—	—
26年5月期(予想)	—	—	—	3.50	6.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

26年5月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当 2円50銭 記念配当 1円00銭

3. 平成26年5月期の連結業績予想(平成25年6月1日～平成26年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	85,000	3.8	2,400	24.9	2,900	26.6	1,800	72.1	23.85

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

26年5月期2Q	76,821,626株	25年5月期	76,821,626株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年5月期2Q	1,363,556株	25年5月期	1,361,150株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年5月期2Q	75,459,438株	25年5月期2Q	74,545,906株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(継続企業の前提に関する注記)	P. 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 10
(セグメント情報等)	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策・金融政策効果を背景に円安と株高が進行し、企業の収益改善や個人消費の持ち直しの動きが見られる等、景気は回復傾向となりました。一方、海外では、米国経済は緩やかに回復しているものの、欧州では債務問題に起因した景気低迷が長引き、また中国は成長鈍化が明確になりました。アセアン諸国では、マネーの流出から自国通貨安が進行して、これまでの高度成長にやや減速感が見られるものの、依然として高い伸びが期待されています。

このようななか、当第2四半期における連結業績は、売上高439億36百万円（前年同期比12.2%増）、営業利益14億94百万円（同61.7%増）、経常利益18億42百万円（同69.4%増）、四半期純利益9億36百万円（同49.8%増）となりました。

セグメントの業績については、次のとおりであります。

(インテリア事業)

オフィスビルや商業施設、ホテル向けの業務用カーペットは、物件の受注が増加したこと等により、売上高は前年同期を上回りました。特に、発売当初から高い評価を得ている循環型リサイクルタイルカーペット「ECOS（エコス）」は、国内のみならず海外への輸出も増加したことから、順調に売上を伸ばしております。一般家庭向けカーペット、ラグマットは、個人消費に持ち直しの動きが見られるものの、秋の深まりが遅かったこと等が影響し、売上高は前年同期を下回りました。

カーテンでは、主力の「U-Life（ユーライフ）Vol.7」に加え、「Face」、「ディズニーシリーズ」、「デザインライフ」が好調に売上を伸ばした結果、売上高は前年同期を上回りました。

壁紙では、「ルノンホーム1000」と量産タイプの「マークⅡ」がともに売上を伸ばし、前年同期を上回りました。

以上の結果、インテリア事業では、売上高174億74百万円（前年同期比6.0%増）、営業利益2億60百万円（同77.5%増）となりました。

(自動車・車両内装事業)

自動車関連では、カーペット事業、ファブリック事業ともに前年同期比で増収増益となりました。カーペット事業では、国内は円安効果で自動車輸出が好調に推移したことと、新規車種の受注分の生産を開始したこと、また海外では、米国だけでなく中国やアジアでの自動車販売の好調を受けて受注増となったこと等により、売上高、営業利益ともに前年同期を上回りました。ファブリック事業においては、国内はエコカー補助金の効果があった前年同期に対して売上は伸び悩みましたが、経費削減が奏功し、営業利益は前年同期を上回りました。海外では、カーペット事業と同様、米国を中心に自動車販売が伸びたことや中国での新規車種の受注等により、前年同期を大幅に上回る売上高となりました。

車両関連では、鉄道向けは、新規車両生産が停滞期を抜け、シートの受注が増加し、シート張替え工事も春先から回復傾向にあり、売上が好調に推移しました。

バス向けでは、バスの新車発注が増加し、特に大型バスの高級ゾーンでの需要が伸び、売上に寄りました。

そのほか、船舶向け内装材や航空機シートも受注が拡大し、売上に貢献しました。

以上の結果、自動車・車両内装事業では、売上高235億41百万円（前年同期比17.6%増）、営業利益17億46百万円（同45.7%増）となり、前年同期を大きく上回りました。

(機能資材事業)

ホットカーペットは、急激な円安進行によるコストアップがあり、また、市況も大きな盛り上がりには欠けたため、生産台数ならびに売上、利益ともに前年同期に届かず減収減益となりました。フィルター・消臭関連および建材・土木資材関連は好調に推移し、太陽電池向けのシリコンウエハ事業は、株式会社中村超硬と合弁で設立した中越住江 デバイス・テクノロジー株式会社が事業を開始したため、売上、利益ともに伸長しました。

以上の結果、機能資材事業では、売上高28億58百万円（前年同期比9.4%増）、営業利益1億20百万円（同38.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金の増加等により、前連結会計年度末に比べ51億58百万円増加し852億49百万円となりました。

負債につきましては、支払手形及び買掛金の増加等により、前連結会計年度末に比べ35億75百万円増加し511億62百万円となりました。

純資産につきましては、利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べ15億83百万円増加し340億86百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1億86百万円減少し、69億97百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況については、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、仕入債務の増加等により、8億95百万円の収入（前年同期 1億47百万円の支出）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出等により、7億93百万円の支出（前年同期 9億79百万円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出等により、2億87百万円の支出（前年同期 7億76百万円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

アベノミクス効果によって国内景気は緩やかに回復を続けておりますが、4月以降は消費税増税による駆け込み需要の反動減が予想されます。海外では南欧諸国の債務問題や新興国の成長鈍化が見られ、また、日中関係の悪化といった地政学的リスクも孕んでおり、先行きに不安材料が散見されます。以上のような状況を踏まえ、平成26年5月期見通しは、平成25年7月12日に発表した通期業績予想(売上高850億円、営業利益24億円、経常利益29億円、当期純利益18億円)のままといたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,403	7,117
受取手形及び売掛金	20,314	24,668
有価証券	275	275
商品及び製品	7,947	8,790
仕掛品	1,448	1,429
原材料及び貯蔵品	2,532	3,138
その他	3,610	3,273
貸倒引当金	△31	△34
流動資産合計	43,500	48,658
固定資産		
有形固定資産		
土地	17,842	17,250
その他(純額)	9,089	9,429
有形固定資産合計	26,932	26,680
無形固定資産		
	422	504
投資その他の資産		
その他	9,207	9,565
貸倒引当金	△160	△158
投資その他の資産合計	9,046	9,406
固定資産合計	36,401	36,591
資産合計	79,901	85,249

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,501	20,177
短期借入金	10,526	11,238
未払法人税等	383	641
その他	4,197	4,249
流動負債合計	31,608	36,307
固定負債		
長期借入金	4,957	4,429
退職給付引当金	3,796	3,568
役員退職慰労引当金	326	245
負ののれん	133	88
その他	6,812	6,523
固定負債合計	16,025	14,855
負債合計	47,634	51,162
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,554	9,554
資本剰余金	2,652	2,652
利益剰余金	7,746	8,859
自己株式	△355	△355
株主資本合計	19,597	20,709
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,973	2,527
繰延ヘッジ損益	34	60
土地再評価差額金	7,532	7,167
為替換算調整勘定	△50	79
その他の包括利益累計額合計	9,490	9,835
少数株主持分	3,180	3,541
純資産合計	32,267	34,086
負債純資産合計	79,901	85,249

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)
売上高	39,176	43,936
売上原価	30,650	34,589
売上総利益	8,526	9,346
販売費及び一般管理費	7,608	7,852
営業利益	917	1,494
営業外収益		
受取利息	10	11
受取配当金	61	77
負ののれん償却額	44	44
持分法による投資利益	—	107
不動産賃貸料	116	122
その他	142	193
営業外収益合計	375	556
営業外費用		
支払利息	130	119
持分法による投資損失	24	—
不動産賃貸費用	24	16
その他	32	72
営業外費用合計	211	208
経常利益	1,080	1,842
特別利益		
固定資産売却益	2	1
災害に伴う受取保険金	378	—
その他	1	—
特別利益合計	381	1
特別損失		
固定資産除売却損	6	64
災害による損失	303	—
特別損失合計	309	64
税金等調整前四半期純利益	1,152	1,778
法人税、住民税及び事業税	284	656
法人税等調整額	79	△20
法人税等合計	363	635
少数株主損益調整前四半期純利益	789	1,142
少数株主利益	170	206
四半期純利益	618	936

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	789	1,142
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	259	554
繰延ヘッジ損益	18	26
土地再評価差額金	0	—
為替換算調整勘定	<u>△184</u>	<u>108</u>
持分法適用会社に対する持分相当額	<u>△0</u>	<u>2</u>
その他の包括利益合計	<u>93</u>	<u>691</u>
四半期包括利益	<u>882</u>	<u>1,834</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>745</u>	<u>1,647</u>
少数株主に係る四半期包括利益	137	187

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,152	1,778
減価償却費	573	760
災害に伴う受取保険金	△378	—
災害損失	303	—
負ののれん償却額	△44	△44
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	43	△226
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△13	△81
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△7	1
受取利息及び受取配当金	△71	△88
支払利息	130	119
持分法による投資損益 (△は益)	24	△107
固定資産除売却損益 (△は益)	3	63
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,014	△4,273
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△455	△1,242
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,120	3,618
その他	765	853
小計	△108	1,131
利息及び配当金の受取額	70	88
利息の支払額	△131	△120
保険金の受取額	552	—
災害損失の支払額	△281	—
法人税等の支払額	△262	△220
法人税等の還付額	14	17
営業活動によるキャッシュ・フロー	△147	895
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△220	△120
定期預金の払戻による収入	220	220
有価証券の取得による支出	△9,000	△9,601
有価証券の売却及び償還による収入	9,045	9,607
有形固定資産の取得による支出	△839	△1,066
有形固定資産の売却による収入	4	543
投資有価証券の取得による支出	△127	△12
その他	△62	△364
投資活動によるキャッシュ・フロー	△979	△793
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	214	813
長期借入金の返済による支出	△878	△667
リース債務の返済による支出	△317	△376
セール・アンド・リースバックによる収入	431	37
配当金の支払額	△188	△188
その他	△38	93
財務活動によるキャッシュ・フロー	△776	△287
現金及び現金同等物に係る換算差額	△37	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,940	△186
現金及び現金同等物の期首残高	6,892	7,183
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,951	6,997

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年6月1日至平成24年11月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	インテリア 事業	自動車・ 車両内装 事業	機能資材 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	16,490	<u>20,025</u>	2,611	<u>39,128</u>	47	<u>39,176</u>	—	<u>39,176</u>
セグメント間の内部 売上高又は振替高	230	3	17	251	140	391	△391	—
計	16,721	<u>20,029</u>	2,629	<u>39,380</u>	188	<u>39,568</u>	△391	<u>39,176</u>
セグメント利益	146	<u>1,198</u>	198	<u>1,543</u>	17	<u>1,561</u>	△643	<u>917</u>

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物性・性能検査業等であります。

2 セグメント利益の調整額△643百万円には、セグメント間取引消去11百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△655百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門および研究開発部門に係る費用等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年6月1日至平成25年11月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	インテリア 事業	自動車・ 車両内装 事業	機能資材 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	17,474	<u>23,541</u>	2,858	<u>43,874</u>	61	<u>43,936</u>	—	<u>43,936</u>
セグメント間の内部 売上高又は振替高	243	9	13	266	138	404	△404	—
計	17,717	<u>23,551</u>	2,871	<u>44,140</u>	199	<u>44,340</u>	△404	<u>43,936</u>
セグメント利益	260	<u>1,746</u>	120	<u>2,128</u>	30	<u>2,158</u>	△663	<u>1,494</u>

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物性・性能検査業等であります。

2 セグメント利益の調整額△663百万円には、セグメント間取引消去12百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△676百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門および研究開発部門に係る費用等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(訂正前)



平成26年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月14日

東

上場会社名 住江織物株式会社 上場取引所
 コード番号 3501 URL <http://suminoe.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 吉川 一三
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 経営企画室部長 (氏名) 飯田 均 (TEL) 06-6251-6803
 四半期報告書提出予定日 平成26年1月14日 配当支払開始予定日 平成26年2月10日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年5月期第2四半期の連結業績(平成25年6月1日～平成25年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年5月期第2四半期	43,928	12.2	1,551	67.9	1,898	74.6	973	55.8
25年5月期第2四半期	39,163	8.1	923	435.7	1,087	350.7	625	—

(注) 包括利益 26年5月期第2四半期 1,880百万円 (116.9%) 25年5月期第2四半期 866百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年5月期第2四半期	12.91	—
25年5月期第2四半期	8.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年5月期第2四半期	85,502	34,369	36.1
25年5月期	80,090	32,503	36.6

(参考) 自己資本 26年5月期第2四半期 30,827百万円 25年5月期 29,323百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年5月期	—	2.50	—	2.50	5.00
26年5月期	—	2.50			
26年5月期(予想)			—	3.50	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

26年5月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当 2円50銭 記念配当 1円00銭

3. 平成26年5月期の連結業績予想(平成25年6月1日～平成26年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	85,000	3.8	2,400	16.7	2,900	19.5	1,800	119.4	23.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

26年5月期2Q	76,821,626株	25年5月期	76,821,626株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年5月期2Q	1,363,556株	25年5月期	1,361,150株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年5月期2Q	75,459,438株	25年5月期2Q	74,545,906株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(継続企業の前提に関する注記)	P. 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 10
(セグメント情報等)	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策・金融政策効果を背景に円安と株高が進行し、企業の収益改善や個人消費の持ち直しの動きが見られる等、景気は回復傾向となりました。一方、海外では、米国経済は緩やかに回復しているものの、欧州では債務問題に起因した景気低迷が長引き、また中国は成長鈍化が明確になりました。アセアン諸国では、マネーの流出から自国通貨安が進行して、これまでの高度成長にやや減速感が見られるものの、依然として高い伸びが期待されています。

このようななか、当第2四半期における連結業績は、売上高439億28百万円（前年同期比12.2%増）、営業利益15億51百万円（同67.9%増）、経常利益18億98百万円（同74.6%増）、四半期純利益9億73百万円（同55.8%増）となりました。

セグメントの業績については、次のとおりであります。

(インテリア事業)

オフィスビルや商業施設、ホテル向けの業務用カーペットは、物件の受注が増加したこと等により、売上高は前年同期を上回りました。特に、発売当初から高い評価を得ている循環型リサイクルタイルカーペット「ECOS（エコス）」は、国内のみならず海外への輸出も増加したことから、順調に売上を伸ばしております。一般家庭向けカーペット、ラグマットは、個人消費に持ち直しの動きが見られるものの、秋の深まりが遅かったこと等が影響し、売上高は前年同期を下回りました。

カーテンでは、主力の「U-Life（ユーライフ）Vol.7」に加え、「Face」、「ディズニーシリーズ」、「デザインライフ」が好調に売上を伸ばした結果、売上高は前年同期を上回りました。

壁紙では、「ルノンホーム1000」と量産タイプの「マークⅡ」がともに売上を伸ばし、前年同期を上回りました。

以上の結果、インテリア事業では、売上高174億74百万円（前年同期比6.0%増）、営業利益2億60百万円（同77.5%増）となりました。

(自動車・車両内装事業)

自動車関連では、カーペット事業、ファブリック事業ともに前年同期比で増収増益となりました。カーペット事業では、国内は円安効果で自動車輸出が好調に推移したことと、新規車種の受注分の生産を開始したこと、また海外では、米国だけでなく中国やアジアでの自動車販売の好調を受けて受注増となったこと等により、売上高、営業利益ともに前年同期を上回りました。ファブリック事業においては、国内はエコカー補助金の効果があった前年同期に対して売上は伸び悩みましたが、経費削減が奏功し、営業利益は前年同期を上回りました。海外では、カーペット事業と同様、米国を中心に自動車販売が伸びたことや中国での新規車種の受注等により、前年同期を大幅に上回る売上高となりました。

車両関連では、鉄道向けは、新規車両生産が停滞期を抜け、シートの受注が増加し、シート張替え工事も春先から回復傾向にあり、売上が好調に推移しました。

バス向けでは、バスの新車発注が増加し、特に大型バスの高級ゾーンでの需要が伸び、売上に寄りました。

そのほか、船舶向け内装材や航空機シートも受注が拡大し、売上に貢献しました。

以上の結果、自動車・車両内装事業では、売上高235億33百万円（前年同期比17.6%増）、営業利益18億3百万円（同49.6%増）となり、前年同期を大きく上回りました。

(機能資材事業)

ホットカーペットは、急激な円安進行によるコストアップがあり、また、市況も大きな盛り上がりには欠けたため、生産台数ならびに売上、利益ともに前年同期に届かず減収減益となりました。フィルター・消臭関連および建材・土木資材関連は好調に推移し、太陽電池向けのシリコンウエハ事業は、株式会社中村超硬と合弁で設立した中越住江 デバイス・テクノロジー株式会社が事業を開始したため、売上、利益ともに伸長しました。

以上の結果、機能資材事業では、売上高28億58百万円（前年同期比9.4%増）、営業利益1億20百万円（同38.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金の増加等により、前連結会計年度末に比べ54億11百万円増加し855億2百万円となりました。

負債につきましては、支払手形及び買掛金の増加等により、前連結会計年度末に比べ35億45百万円増加し511億33百万円となりました。

純資産につきましては、利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べ18億65百万円増加し343億69百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1億86百万円減少し、69億97百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況については、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、仕入債務の増加等により、8億95百万円の収入（前年同期 1億47百万円の支出）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出等により、7億93百万円の支出（前年同期 9億79百万円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出等により、2億87百万円の支出（前年同期 7億76百万円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

アベノミクス効果によって国内景気は緩やかに回復を続けておりますが、4月以降は消費税増税による駆け込み需要の反動減が予想されます。海外では南欧諸国の債務問題や新興国の成長鈍化が見られ、また、日中関係の悪化といった地政学的リスクも孕んでおり、先行きに不安材料が散見されます。以上のような状況を踏まえ、平成26年5月期見通しは、平成25年7月12日に発表した通期業績予想(売上高850億円、営業利益24億円、経常利益29億円、当期純利益18億円)のままといたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,403	7,117
受取手形及び売掛金	<u>20,350</u>	<u>24,725</u>
有価証券	275	275
商品及び製品	<u>8,015</u>	<u>8,906</u>
仕掛品	<u>1,530</u>	<u>1,538</u>
原材料及び貯蔵品	<u>2,581</u>	<u>3,204</u>
その他	<u>3,616</u>	<u>3,248</u>
貸倒引当金	△31	△34
流動資産合計	<u>43,740</u>	<u>48,982</u>
固定資産		
有形固定資産		
土地	17,842	17,250
その他(純額)	9,089	9,429
有形固定資産合計	26,932	26,680
無形固定資産	422	504
投資その他の資産		
その他	<u>9,157</u>	<u>9,494</u>
貸倒引当金	△160	△158
投資その他の資産合計	<u>8,996</u>	<u>9,335</u>
固定資産合計	<u>36,350</u>	<u>36,519</u>
資産合計	<u>80,090</u>	<u>85,502</u>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,487	20,168
短期借入金	10,526	11,238
未払法人税等	383	641
その他	4,164	4,228
流動負債合計	31,561	36,277
固定負債		
長期借入金	4,957	4,429
退職給付引当金	3,796	3,568
役員退職慰労引当金	326	245
負ののれん	133	88
その他	6,812	6,523
固定負債合計	16,025	14,855
負債合計	47,587	51,133
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,554	9,554
資本剰余金	2,652	2,652
利益剰余金	7,923	9,074
自己株式	△355	△355
株主資本合計	19,774	20,924
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,973	2,527
繰延ヘッジ損益	34	60
土地再評価差額金	7,532	7,167
為替換算調整勘定	7	147
その他の包括利益累計額合計	9,548	9,902
少数株主持分	3,180	3,541
純資産合計	32,503	34,369
負債純資産合計	80,090	85,502

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)
売上高	39,163	43,928
売上原価	30,630	34,518
売上総利益	8,532	9,409
販売費及び一般管理費	7,608	7,858
営業利益	923	1,551
営業外収益		
受取利息	10	11
受取配当金	61	77
負ののれん償却額	44	44
持分法による投資利益	—	107
不動産賃貸料	116	122
その他	142	193
営業外収益合計	375	556
営業外費用		
支払利息	130	119
持分法による投資損失	24	—
不動産賃貸費用	24	16
その他	32	72
営業外費用合計	211	208
経常利益	1,087	1,898
特別利益		
固定資産売却益	2	1
災害に伴う受取保険金	378	—
その他	1	—
特別利益合計	381	1
特別損失		
固定資産除売却損	6	64
災害による損失	303	—
特別損失合計	309	64
税金等調整前四半期純利益	1,159	1,835
法人税、住民税及び事業税	284	656
法人税等調整額	79	△0
法人税等合計	363	655
少数株主損益調整前四半期純利益	796	1,179
少数株主利益	170	206
四半期純利益	625	973

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	796	1,179
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	259	554
繰延ヘッジ損益	18	26
土地再評価差額金	0	—
為替換算調整勘定	<u>△206</u>	<u>117</u>
持分法適用会社に対する持分相当額	<u>△0</u>	<u>2</u>
その他の包括利益合計	<u>70</u>	<u>700</u>
四半期包括利益	<u>866</u>	<u>1,880</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>729</u>	<u>1,693</u>
少数株主に係る四半期包括利益	137	187

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,159	1,835
減価償却費	573	760
災害に伴う受取保険金	△378	—
災害損失	303	—
負ののれん償却額	△44	△44
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	43	△226
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△13	△81
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△7	1
受取利息及び受取配当金	△71	△88
支払利息	130	119
持分法による投資損益 (△は益)	24	△107
固定資産除売却損益 (△は益)	3	63
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,026	△4,293
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△467	△1,328
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,128	3,623
その他	790	897
小計	△108	1,131
利息及び配当金の受取額	70	88
利息の支払額	△131	△120
保険金の受取額	552	—
災害損失の支払額	△281	—
法人税等の支払額	△262	△220
法人税等の還付額	14	17
営業活動によるキャッシュ・フロー	△147	895
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△220	△120
定期預金の払戻による収入	220	220
有価証券の取得による支出	△9,000	△9,601
有価証券の売却及び償還による収入	9,045	9,607
有形固定資産の取得による支出	△839	△1,066
有形固定資産の売却による収入	4	543
投資有価証券の取得による支出	△127	△12
その他	△62	△364
投資活動によるキャッシュ・フロー	△979	△793
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	214	813
長期借入金の返済による支出	△878	△667
リース債務の返済による支出	△317	△376
セール・アンド・リースバックによる収入	431	37
配当金の支払額	△188	△188
その他	△38	93
財務活動によるキャッシュ・フロー	△776	△287
現金及び現金同等物に係る換算差額	△37	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,940	△186
現金及び現金同等物の期首残高	6,892	7,183
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,951	6,997

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年6月1日至平成24年11月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	インテリア 事業	自動車・ 車両内装 事業	機能資材 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	16,490	<u>20,012</u>	2,611	<u>39,115</u>	47	<u>39,163</u>	—	<u>39,163</u>
セグメント間の内部 売上高又は振替高	230	3	17	251	140	391	△391	—
計	16,721	<u>20,016</u>	2,629	<u>39,367</u>	188	<u>39,555</u>	△391	<u>39,163</u>
セグメント利益	146	<u>1,205</u>	198	<u>1,549</u>	17	<u>1,567</u>	△643	<u>923</u>

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物性・性能検査業等であります。

2 セグメント利益の調整額△643百万円には、セグメント間取引消去11百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△655百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門および研究開発部門に係る費用等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年6月1日至平成25年11月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	インテリア 事業	自動車・ 車両内装 事業	機能資材 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	17,474	<u>23,533</u>	2,858	<u>43,866</u>	61	<u>43,928</u>	—	<u>43,928</u>
セグメント間の内部 売上高又は振替高	243	9	13	266	138	404	△404	—
計	17,717	<u>23,543</u>	2,871	<u>44,132</u>	199	<u>44,332</u>	△404	<u>43,928</u>
セグメント利益	260	<u>1,803</u>	120	<u>2,184</u>	30	<u>2,214</u>	△663	<u>1,551</u>

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物性・性能検査業等であります。

2 セグメント利益の調整額△663百万円には、セグメント間取引消去12百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△676百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門および研究開発部門に係る費用等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。